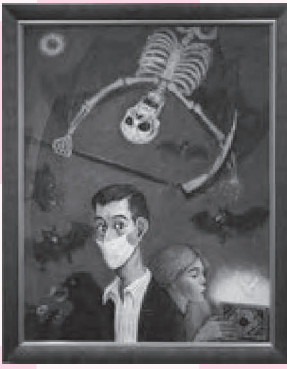


第3回全国絵画公募展「梅津五郎芸術賞」入選者発表



一般の部で最優秀賞に選ばれた中尾廣太郎さんの作品「パンドラの箱」

本町出身の洋画家・梅津五郎さんの画業を顕彰することを目的に、梅津五郎芸術賞公募展実行委員会（橋本満弘委員長）が主催する梅津五郎芸術賞第3回全国絵画公募展が、あゆ一むにおいて9月23日～10月11日の日程で開催されました。

今回の応募総数は、一般の部（高校生以上）105点、中学校の部95点、小学生の部274点。審査は、日展会員で東光会副理事長の松田茂さん、日本美術院同人・前東北芸術工科大学教授の番場三雄さん、山形大学教授で画家の小林俊介さんによって行われ、入賞・入選に選ばれた計108点が展示されました。

また、表彰式は9月27日に白鷹町文化交流センターあゆ一むで行われ、受賞者を代表し、一般の部で最優秀賞に選ばれた中尾廣太郎さんが「受賞を励みに自分の絵の世界をひろげるため一生精進したい」と喜びを語りました。

■一般の部

氏名	市町村名
【最優秀賞】	
中尾廣太郎	鳥取県鳥取市
【優秀賞】	
マキノロラン	山形県山形市
【白鷹町長賞】	
遠藤 正俊	山形県山形市
【佳作】	
庄司 勲	茨城県土浦市
和田 三夫	宮城県仙台市
小野 ひで	千葉県八千代市
三又 孝寛	神奈川県横須賀市
三木コラジ	東京都国立市
【入選】	
駒谷日登美	山形県山形市
池上 映子	長野県諏訪市
鈴木 雅之	宮城県大河原町
安藤 光	福島県福島市
水田 大輔	静岡県伊東市
富森 努	京都府京都市
金澤 隆二	茨城県土浦市
渡邊 修一	山形県米沢市
長谷川守男	山形県山形市
池上 武男	長野県諏訪市
小松和花菜	宮城県仙台市
喜嶋 定雄	山形県東根市
阿部 好江	宮城県仙台市
伊藤 武雄	山形県米沢市
芳賀 則政	山形県白鷹町
さとうふみお	千葉県野田市
吉井 利雄	茨城県牛久市
大西 隆夫	滋賀県大津市
甲賀 保	静岡県焼津市
坪井 康宏	山形県天童市
奥村 修	埼玉県上尾市
多田 耕二	千葉県君津市
細谷 由記	山形県河北町
沖津ふじ子	山形県寒河江市
南波 久	東京都台東区
阿部 瑞季	宮城県塩竈市
森 眞澄	宮城県仙台市
上浦 常雄	山形県山形市

志賀清代子	和歌山県和歌山市
平尾 早希	山梨県甲斐市
佐藤 由子	福島県南相馬市
佐々木綾子	山形県米沢市
榊原 愛美	山形県山形市
松宮 榮典	宮城県仙台市

■中学生の部

氏名	学校名
【最優秀賞】	
高嶋 風花	山形大学附属中
【優秀賞】	
高梨瑚太郎	白鷹町立白鷹中
渡辺 琴音	白鷹町立白鷹中
【入選】	
小谷部将幸	白鷹町立白鷹中
中川 久綱	白鷹町立白鷹中
仲島 美幸	白鷹町立白鷹中
高橋 七倅	白鷹町立白鷹中
高橋 美咲	白鷹町立白鷹中
金田 陽太	白鷹町立白鷹中
佐藤 叶望	白鷹町立白鷹中
海老名空来	白鷹町立白鷹中
菊地埜々花	白鷹町立白鷹中
本木 杏奈	山形大学附属中
舟越理香子	山形大学附属中
高橋 依鈴	山形大学附属中
高橋 香乃	山形大学附属中
本間 和花	天童市立第四中
齋藤玲桜奈	天童市立第四中
安孫子結咲	寒河江市立陵西中
伊藤 俊輔	寒河江市立陵西中
木村 心愛	寒河江市立陵西中
菖蒲 雄	寒河江市立陵西中
横山 陽依	寒河江市立陵西中
鈴木 愛佳	寒河江市立陵西中
高橋 音々花	寒河江市立陵西中
伊藤 綾乃	西川町立西川中
荒木 一楽	西川町立西川中
庄司 怜那	西川町立西川中
玉谷 美月	西川町立西川中
荒木 瑛奈	西川町立西川中

小座間 楓	西川町立西川中
菅野 晴菜	西川町立西川中
今井 大陸	鶴岡市立鶴岡第一中

■小学生の部

氏名	学校名
【最優秀賞】	
沼澤 俐音	白鷹町立鮎貝小
【優秀賞】	
児玉 颯樹	白鷹町立蚕桑小
吉村 雫	白鷹町立鮎貝小
【入選】	
大塚 優希	白鷹町立蚕桑小
渡部 蓮叶	白鷹町立蚕桑小
原田 泰地	白鷹町立蚕桑小
青木 煌志	白鷹町立蚕桑小
児玉 琉樹	白鷹町立蚕桑小
今野 敦斗	白鷹町立蚕桑小
小松 陽向	白鷹町立蚕桑小
高橋 杏珠	白鷹町立蚕桑小
莊子 楓雅	白鷹町立蚕桑小
新野 獅桐	白鷹町立蚕桑小
齊藤 柚葉	白鷹町立蚕桑小
田口 陽葵	白鷹町立蚕桑小
槌谷 柚	白鷹町立蚕桑小
佐藤 蒼大	白鷹町立鮎貝小
鬼塚藍乃介	白鷹町立鮎貝小
小口 星文	白鷹町立鮎貝小
岡部航央子	白鷹町立鮎貝小
原田 桜果	白鷹町立鮎貝小
長谷部歩夢	白鷹町立鮎貝小
鬼塚りおん	白鷹町立鮎貝小
川田 愛紗	白鷹町立鮎貝小
木村 咲笑	白鷹町立鮎貝小
金田 風真	白鷹町立鮎貝小
清水 理久	白鷹町立鮎貝小
山口 真聖	白鷹町立鮎貝小
菅間 怜央	白鷹町立東根小
梅津 希望	白鷹町立東根小
佐山ひなた	白鷹町立東根小
新野 凜華	白鷹町立東根小
齋藤菜々佳	川西町立吉島小

白鷹町観光交流大使 任期満了

～これまでの取り組みについて～

観光交流を推進し、観光物産を振興していくため、首都圏で活躍されている町出身者や町にゆかりのある方が任命され、観光物産振興への助言やサポートをはじめ、首都圏などにおいて白鷹町の魅力や観光・イベント・特産品等のPRを行う「観光交流大使」。

平成26年度から田勢康弘さん（ジャーナリスト）、上原恭子さん（野菜ソムリエプロ）、青木実さん（クリエイティブプロデューサー）の3名にご委嘱申し上げ、令和元年度までの3期6年間、毎年来町いただき、今後のまちづくりに対するさまざまなご助言や町の特産品のPRを行っていただきました。

観光大使が“白鷹町”に抱く思い

—これまでの取り組み—

- ▶ 白鷹中学校校歌を作詞
- ▶ 白鷹学講座における講演
- ▶ 鮎まつりステージイベント「こころ歌ライブ」をプロデュース
- ▶ ライブイベントプロデュース



田勢 康弘さん
(ジャーナリスト)

鳥羽一郎の歌に「母のいない故郷」という名曲がある。「母のいない故郷は 風の村無人駅に降りり子どもに帰れない寂しさ 母さんのせいだよ ただ時の流れにたたくむばかり。」私にとっては白鷹町はこの歌と同じ景色である。鮎貝駅からの坂道を母親に手を引かれて母の実家へ向かったものだ。

観光交流大使として白鷹と繋がっていたことはとても幸せだった。それが縁で実弟が黒鴨でカフェを始めた。私の白鷹町への思いも強まるばかりだ。

引用:「母のいない故郷」(作詞:新本創子 作曲:船村徹)

—これまでの取り組み—

- ▶ 「トマトがキムチになったはっ！」のレシピ、アイデア提案
- ▶ 畔藤きゅうりの首都圏PR
- ▶ 「農産加工品調理講習会」講師
- ▶ 白鷹中学校修学旅行「白鷹創生」取材講師
- ▶ 白鷹郷土料理レシピ集「ごっつおうしらたか」掲載メニュー「トマトすき焼き」レシピ提案



上原 恭子さん
(野菜ソムリエプロ)

東京の下町育ちの江戸っ子の私には、「田舎」と言う言葉はある意味あこがれ。ご縁あって白鷹町観光交流大使に任命していただき、白鷹町の豊かな自然・温かい皆さま・畔藤キュウリやコシアブラを始めとする宝物の食材に触れ合え、まるで「田舎」が出来たような気持ちで幸せな時間を過ごさせていただきました。これからも私に出来ることをコツコツやりつつ気持ちは白鷹町と繋がっていたいと思います。ありがとうございました。

—これまでの取り組み—

- ▶ 町観光交流計画策定アドバイザー就任
- ▶ シラタカレッドロゴマークをデザイン
- ▶ 「おどろ!シラタカレッド」作詞
- ▶ 首都圏でのPRイベント「シラタカレッドフェア」をプロデュース
- ▶ 白鷹中学校修学旅行「白鷹創生」取材講師
- ▶ 白鷹郷土料理レシピ集「ごっつおうしらたか」企画、デザイン、イラストを担当



青木 実さん
(クリエイティブプロデューサー)

シラタカ・ロス！今年にはコロナのせいで、一度も白鷹町に行けませんでした。さまざまなイベントやお祭りや、新町役場のお披露目にも。旬の美味しいものの便りが届くたびに、行きたいなど。観光交流大使を務めさせていただいたから6年間、いろいろ思い出があります。ご提案した「SHIRATAKA RED」も定着し、歌や踊り、イベントにお役に立てて、本当に嬉しく思います。いつも「白鷹町の出身ですか？」と聞かれます。これからは「半分、そうです」と答えることにします。近々、必ず白鷹町に行きますよ！